
謎色物語4

Sorairo 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

謎色物語 4

【Nコード】

N2929M

【作者名】

Sorairo 光

【あらすじ】

謎色シリーズですが、文面が意味不明なところ以外にはこれまでの謎色物語との共通点はありません。

（前書き）

意味不明です。それでもいいようにって方だけどうぞ。

“サヨウ”と“ナラ”を合わせて、言った。
これでいいんだよね？眠いよ、だるいよ。
それが本当だって良いのって、思えないの。
私はまだまだ弱い心。

「問題ない」とつぶやいた、言葉は失われてしまった。
もうどうなったっていいんだってさ。

ふらふらと歩きだし、“道路”と名付けられたアスファルトを踏みしめる。

間違い探しに回れば“また”ここにいた。
何度回っても何度歩いて同じこと。

当たり前のように立つことの意味を、当たり前のように息をする意義を、私は……しらない。

ふと地上から空を見上げたら世界が割れてガラスのように飛び散って、雨が私の肌に突き刺さって消える。

この世界で何ができるかなんて興味ない。

自分で制御しきれない自分を何度殺しても意味なんてない。

ケーキは甘味。

ギスギスの心に甘さをくれる。

どれだけ伝えたくても、伝わらない言葉。

たくさん思いはたったこれだけの言葉に。

たったこれだけの言葉は、たくさん思いに。

何も言えずにただただ茫然と時は過ぎていく。

歩いてても、立ってても、座っててもそれは同じ事。

拡散していく夕暮れに、溶けるような火の中で立ち尽くしていた。

ここで、今、この場所で大切な“何か”をおもいつき壊してみようか？

大切な“何か”を失う前に。

その“何か”を壊してみる。

踊れないダンスを人前で、祭壇の上で、踊れるの？

つまずいた“何か”を思い切り蹴飛ばしてみようか。

でも、今すぐにつていうのは難しいから、「あなたも一緒に。」

のばしたてをとって、伸ばされた手を取って。

二人、三人、四人、祭壇の上はおしくらマンジュウ大会になるまで。

私は何がしたいの、何をどうしたいの。

わからなくなるまでメチャクチャになりたいの。

泣きたいときに笑いたいの、笑いたい時には泣きたいの、そんなわがまま疲れちゃう。

「泣いて笑って、サヨナラなら……。」

誰かが私の耳元で呟いた。

白も黒もないわ、あるのは灰色だけ。

弱いとか強いとかは今放り投げてしまいたい。

あなたがどうしたいとか私がどうしたいとかわからない。

でもわからなくてもいいわ。

「興味ないわ、ジャズをポップで疲れるまで。」

私は笑ってそう答えた。

その灰色にどつぷりとつかっていたいの。

意義も意味も、何もかもわからなくなるまで、今はただ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2929m/>

謎色物語4

2010年10月22日00時37分発行